

不安（関係者から恨まれるなど）はありましたか

心配していました

家族含め心配していました
が、名前と呼ばれることは
ありませんし、個人を特定
される心配もありませんで
した。

個人情報は出ません

他の裁判員の名前も住所も
分かりませんし、コロナ禍
もあってマスクをしている
ので、あまり心配していま
せんでした。

（裁判所から皆様へ）

- 裁判所は、皆様に安心して参加いただくため、裁判員の安全確保に万全の配慮をしています（個人情報は厳重に管理、事件関係者と接触しないよう部屋等の工夫など）。

万一、不安や危険を感じるような事態が生じた場合には、直ちに裁判所に相談してください。関係機関と連携するなどし必要な措置をとります。

- なお、法律により、事件に関して裁判員に接触することは禁止されており、裁判員に頼みごとをしたり、裁判員や家族を脅した者には、刑罰が科されることになっています。また、事件関係者から危害を加えられるおそれのある例外的な事件は、裁判官のみで審理することになっています。

裁判に対する印象は変わりましたか

裁判員制度の意図

特殊な分野の印象でしたが、物事のプロセスを考えていくうちに、裁判員制度の意図が少し理解できたかなと思います。

遠い世界

裁判所は遠い世界でしたが、ニュースなどを見る中で、「いろいろなことが裏にはあるんだな」とか、いろいろな部分を感じられました。

被告人の印象は、最初と最後で変わりましたか

人柄が分かった

悪そうなかかなと思いましたが、弁護人を通じて人柄も分かり、印象は違ったんだと思いました。

印象が変わった

事件を起こした人には見えませんが、裁判で話などを聞く中で、心に闇の部分があったのかなと、印象が変わった感じでした。

裁判所の新型コロナウイルス対策について

安心感

自分だけでなく全員が検温をしているという安心感のほか、自分が思いつかない対策もたくさんとられています。

対策はバッチリ

評議室にアクリル板があると、ちょっと声が聞きにくく、顔も見にくいですが、対策はバッチリだと思います。

裁判所における新型コロナウイルス感染防止対策について

- ① 広い法廷の使用
- ② 法壇（裁判員が着席する卓上）や評議室にアクリル板を設置
- ③ 座席間隔の確保
- ④ 定期的な換気
- ⑤ 備品等の消毒
- ⑥ 手指消毒用のアルコール等の設置
- ⑦ マスクの着用

など

※ 裁判員、補充裁判員の方には、裁判所にお越しいただく前に、ご自宅での検温をお願いしています。

裁判員を経験しての感想

守秘義務

義務感とは感じず、日常生活で「これは言わないよ、秘密にしてね」というのと同じ程度の認識です。

参加してよかった

事件などを自分の頭で考えられるようになりました。知識が大きくなっていくのが分かりましたし、参加してよかったと思っています。

なかなかできない

なかなかできない経験をしたというのが大きいです。自分の仕事や生活でも非常に生きてくるので、良い経験だったと感じています。

決めることの重さ

裁判に対する理解は深まりましたが、被告人の人生を決めることの重さ、これでもよかったのかなという気持ちは残ったかなと。

(さいたんのミニ出前講義 ⑤)

- 裁判員6名と裁判官3名が時間をかけて十分に議論を重ね、一つのチームとして協働して結論を出すので、一人で重く考え過ぎる必要はありません。
- 裁判員を経験された多くの方が「良い経験」とアンケートで回答されているので、安心して参加してください。



これから参加される方々へのメッセージ

一般人の感じ方

一般人の感じ方や意見を取り込むのが裁判員制度という感じですので、自分なんかと思わず、引き受けていただきたいと思います。

優しい雰囲気

「皆さん一緒に頑張ろうね」という優しい雰囲気です。前向きな気持ちで参加すれば絶対良い経験になりますので、おすすめします。